

2025 年 JSCA 賛助会員との技術交流会 5/28（第 2 回） 日程表

技術テーマ：「デジタル関連他の新技術の紹介」		
13:30～13:40	主催者挨拶 技術委員会	
13:40～14:25	三谷セキサン(株)	既製杭汎用型施工情報管理システム「Check&View」は、「未来へ情報を残し、新しい常識を創る」をコンセプトに開発された既製コンクリート杭工法向けの施工情報管理システムです。本システムは、杭工事管理者がスマートフォンアプリに施工管理状況を入力すると、即座に専用クラウドサーバーに保存され、関係者間で杭工事に関わるすべての情報がリアルタイムで施工状況を共有できます。また施工状況を迅速に伝達できるだけでなく、チェックシートや施工実績一覧などのデータ出力にも対応しています。
14:25～15:10	九州第一工業(株)	BIM による 3D 設計技術と精密 3 次元測量技術の融合を目的として、AMETEK 社が提供している VX エレメントシリーズとハンディースキャナーを活用し、複雑な形状や 2 次元での数値計測が困難な物件において、BIM モデルとの整合をリアルタイムで計測できます。また計測したデータを BIM に入力することで、そのデータに合わせて設計し直す逆流作業も行うことができます。
15:10～15:20	休憩	
15:20～16:05	(株) 構造システム	ST-Bridge 形式ファイルを介したデータの連携によって、設計業務に用いるソフトの選択肢が広がっており、ここでは、ST-Bridge 形式ファイルを用いた当社の一貫構造計算ソフトと各種 BIM ソフトや他社一貫構造計算ソフトとの連携、一貫構造計算ソフトから動的解析ソフトへのデータ転送による時刻歴応答解析までの一連の流れを紹介します。 ※1. RC/SRC/S/CFT 造建物の一貫構造計算「構造モデラー+NBUS7」 ※2. 任意形状立体フレームの弾塑性解析「SNAP」
16:05～16:50	(株) ゼットアールシー・ジャパン	常温垂鉛めっき Z.R.C の施工物件フォローアップとして、建築物の施工後 5 年毎に調査を実施した物件を対象として、経年変化を追跡した現在の状況を紹介します。
16:50～17:00	閉会挨拶	